

2023年度 群馬県バレーボール協会運営方針

群馬県バレーボール協会

会長 堤 清夫

はじめに

2023年度 群馬県バレーボール協会は鈴木新副会長並びに渡瀬新理事長をはじめ、役員新体制でスタートとなります。

昨年度、本協会の発展にご尽力頂きました役員の皆様ならびに関係各位に対しお礼申し上げますと共に今後ともご指導・ご支援をお願い致します。

さて、2022年度もたくさんの大会や行事が開催され、無事盛会のうちに全てを終了することができました。昨年度の主な大会・行事としては、関東9人制バレーボール実業団男女選手権大会、関東高等学校男子バレーボール大会、関東ママさん大会の開催がありました。まず、関東9人制バレーボール実業団男女選手権大会が5月21日（土）～22日（日）が伊勢崎市民体育館で開催され、男子はJT 東京が優勝。関東高等学校男子バレーボール大会がALSOK ぐんまアリーナ、サブアリーナ、ぐんま武道館で開催され、習志野が優勝し幕を閉じました。大会・行事の開催にあたり準備、大会運営に当たられた役員・審判委員の皆様本当にご苦労様でした。

競技成績の面では群馬銀行グリーンウイングスの素晴らしい活躍が光りました。2022/23 V2リーグ女子大会に於いてレギュラーラウンドを15勝5敗で3位。ファイナルステージに進出し、レギュラーラウンド2位のルートインと対戦し3-1で勝利。翌日のレギュラーラウンド1位のアランマーレに惜しくも2-3で敗れ準優勝。4月8日・9日に行われるV・チャレンジマッチ（入れ替え戦）でV1リーグ・レギュラーラウンド11位の岡山シーガルズと対戦となります。是非、両日とも勝利しV1の切符を獲得してもらいたいと思います。

次に8月下旬に東京都 武蔵野の森総合プラザで行われた国体関東ブロック大会では、群馬県少年女子が関東ブロックを突破し、13年ぶりに本国体出場を果たしベスト16と健闘。また、ビーチバレーボールでも本国体で少年男子がベスト16と健闘。同じく8月上旬に第42回全日本バレーボール小学生大会が東京都 東京体育館ほかで開催され本県代表の群馬大和チーム（混合）が第3位と素晴らしい結果を残してくれました。

表彰関係では（公財）日本バレーボール協会功労者Ⅱ表彰に若井健一氏が受賞。また群馬県スポーツ協会会長賞に山本督次氏が受賞されました。

今年度の本協会、競技目標として各カテゴリで全国大会上位入賞と国体関東ブロック大会全カテゴリ（4カテゴリ）がブロック突破し、本国体出場及び上位入賞を目指します。そのために指導普及・強化委員会を軸にして、競技力向上と競技人口拡大・育成を推進します。特に、全国的に減少傾向にある小・中・高のバレーボール育成を図るため、指導普及委員会と強化委員会が中心となり、小連・中体連・高体連・ヤング連盟・各支部協会との連携を図り事業を更に進めていく計画です。

運営目標では、コロナ禍において感染防止対策をしっかり行い各カテゴリの運営をお願いしたいと思います。また、各委員会の拡充・強化を図り、コンプライアンス委員会を中心に「体罰・暴力・セクハラ」の撲滅に向けた啓発活動を強化します。更に生涯スポーツとしてのバレーボール競技の普及・発展を図ります。加盟競技団体並びに支部協会と連携し、児童・生徒から高齢者に至るまで、心身の健全な発達及び豊かな社会の形成に貢献することを目指します。

1. 運営方針

- (1) (公財)日本バレーボール協会が制定した『JAPAN バレーボール宣言』の理念のもと、コロナ禍においても身近に「する・観る・支える」環境をつくり、バレーボールの発展を目指す。
- (2) 加盟競技団体並びに支部協会との連携を図り、円滑な組織運営を目指す。
- (3) 各委員会の拡充・強化を図り、必要に応じて委員会を開催する。
- (4) 競技人口の拡大と競技力向上に向けて、組織一体となり取り組む。
- (5) 6年後の本県で開催される国民スポーツ大会で上位の成績を獲得するために選手の育成・強化に取り組む。
また、指導者の資質向上や審判員拡充も図る。
- (6) 健全財政の確立を図る。

2. 具体的施策

運営方針に基づき、本協会の目的達成のため以下の取り組みを行う。

- (1) 年間事業計画に基づき理事会や委員会を計画的に開催し、「加盟競技団体・支部協会」を充実させる。
- (2) 委員会の拡充・強化を行う。
委員会の委員増員を図り、過重負担の軽減を目指す。
- (3) 競技人口の拡大と育成、競技力向上に向け取り組みを行う。
 - ① 2029年度本県で開催される国民スポーツ大会に向け、バレーボール競技人口の拡大と育成。また指導者の資質向上を図り、前回大会(昭和58年/あかぎ国体)以上の成績を残せる様な事業を企画・立案し、強化を図っていく。
 - ② 指導者の資質向上を図り、各加盟団体の全国・関東大会上位入賞を目指す。
 - ③ 競技人口拡大に向け、継続的な取り組みを行う。特に、小中学生の人口拡大事業を各支部協会と連携して実施する
- (4) 選手の育成・強化及び審判員の養成をする。
 - ① 日本を代表するタレント選手の発掘・育成を目指し、ジュニアからの育成・強化を図る。
 - ② ビーチバレーボール含む審判員の養成や派遣を実施し、公認審判員の拡充を図る。
 - ③ 有資格者指導者を拡充し選手の育成強化を図ると共に、「体罰・暴力・セクハラ」の撲滅を目指す。
- (5) 財源の確保に努め、健全財政の確立を図る。